

外観



約6000坪の敷地には実なる樹木が多く、住宅地とは思えないほどの自然に恵まれている。中央の芝生がある中庭(パティオ)を中心に、教室棟、本館棟、ホール棟の3つの建物が三角形に配置されている。

改修前トイレ



洗面コーナー



透明感あふれるクリスタルカウンターと照明付きの大型鏡を採用した明るい洗面コーナー。カウンター上部にはドライエリアを設けて水濡れを心配せずに小物などを置くことができる。

掃除用流し



既存のパイプスペースの一部を利用して掃除用の流しを新設。省スペースでも設置可能なマルチシンクを採用。

トイレ全体



トイレの内装は白と明るい木目を基調としたさわやかな空間。壁にはポードータイルを使用し、シンプルながらもアクセントを持たせた内装。

小便器コーナー



床の清掃性や節水性に優れた壁掛け低リップタイプの小便器を採用。足元には尿の飛散などに配慮した清掃性の高いハイドロセラ・フロアPUを設置している。

洗面コーナー(廊下)



トイレ入口の廊下に設置してあるステンレス製の流しはトイレ洗面コーナー同様のカウンター式に改修。

トイレレイアウト



大便器コーナー



大便器ブースの間仕切りは天井まで立ち上げ、個室感を高めている。使用していない時は、扉が30°の角度で止まるように設置。内部が丸見えにならず、ブースの空き状況が一目でわかる。

大便器ブース



環境に配慮し、節水タイプの大便器を採用。ブースの広さは拡張されL型手すりを新設。他の大便器ブースには将来対応用として取付け面に補強を入れている。

建築概要

名称	三田国際学園中学校・高等学校
所在地	東京都世田谷区用賀2-16-1
施主	学校法人戸板学園
設計	鹿島建設株式会社
施工	鹿島建設株式会社 TOTOエンジニアリング株式会社
竣工年月	(改修)2015年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>
1902年、戸板裁縫学校として創立。2015年4月「戸板中学校」「戸板女子高等学校」から「三田国際学園中学校・高等学校」と改称し、女子トイレを男子トイレへ改修した。

<トイレの特長>
シンプルでさわやかな落ち着いたあるトイレ空間。大便器はすべて洋式化、個々のブースも拡張して使いやすくゆとりのある空間にしている。洗面コーナーは器具数を減らしたが、廊下の流しをトイレ同様の洗面コーナーに改修することで混雑緩和にも配慮している。廊下の洗面カウンターには冷水機が内蔵されている。